

ブルゴーニュ大学への協定留学 月例報告書（10月）

人見小春

1. はじめに

留学に来てから一か月が過ぎました。日本にいた頃は第二外国語での留学に不安を感じていましたが、実際に生活してみると全くホームシックにはならず、むしろ帰りたくないという気持ちの方が大きいです。時間が過ぎることをとても速く感じていて、とにかく一日一日を無駄に過ごさないように心がけています。

2. 授業について

今月から本格的に授業が始まりました。私のクラスにはギリシャ人やロシア人、ナイジェリア人、ロシア人など様々な国からの留学生がいます。クラス分けテストの結果一番下のクラスになってしまったので周りも同じようなレベルかと思いきやスラスラとフランス語を話す生徒も多く驚きました。皆吸収するスピードが速く授業で習った語彙をすぐに使ってみたりして上達していくので私も負けないように頑張ろうという良い刺激になります。初めの頃は基礎から始まっており授業内容自体はそこまで難しくないのですが、先生の話すフランス語を聞き取ることが難しく、同時に面白くもあります。私のフランス語力はとても低いですが、一つ一つの授業をしっかり吸収してレベルアップさせたいと思います。

ちなみに、クラスごとに時間割が決まっていますが私のクラスは毎日授業があり、午前で終わる日と夕方まである日とあります。別のクラスは全休があったりほとんど午前で終わる時間割だったりするので正直羨ましいのですが、毎日学校に通える！とポジティブに捉えようと思います。

3. 毎日の食事

私が今困っているのが食事です。学校では3.3€で学食を食べることができるので夕方まで授業がある日などはクラスメートと一緒に昼食を食べています。同じ値段で夕食も食べることができます。メニューは野菜やデザートその他、ピザや魚料理、肉料理などから選ぶことができます。そのため学校では普通に食事を取れるのですが、夕食を用意することに特に苦戦しています。理由は明白で自炊が出来ないからです。日本にいた頃全く自炊をしたことが無く



大学の学食

毎日コンビニやウーバーイーツで過ごしていた私にとって、お弁当のようにすぐに食べられるものがパッと買えない環境は厳しかったようです。ウーバーイーツもとっても高く、あるのはハンバーガー、ピザ、ケバブ、たまに寿司。フランスのスーパーで見つけたレンジで温めて食べる商品は個人的にあまり美味しくありませんでした。しかし物価が高いフランスでこれ以上この生活を続けるわけにもいけないので、来月の目標は自炊をすることにしたいと思います。

4. コロナ感染

10月の末にコロナに感染してしまいました。実は元々この頃に学校内で流行っていたのであまり驚きませんでした。市販の検査キットを使って陽性だと分かったのが月曜日で、そこから一週間お休みしました。一週間も授業を休んで付いていけるだろうかという不安が大きかったです。学校に証明する際に正式な書類が必要なのかどうか分からなかったので念のため病院でも診察してもらいました。日本で入った保険のおかげで料金もかからず、わからない説明は翻訳してもらうことができました。熱は二日ほどで引きましたが喉の痛みと鼻詰まりが酷く、隔離中は殆ど食事を取りませんでした。大変でしたが、学生寮の友達に助けてもらいながらなんとか乗り切ることができました。フランスではマスクをしている人が殆どおらず私としてはそれが快適だったのですが、いつ感染してもおかしくない状況だとは思います。

5. フランス人との交流

私が通っているのは語学学校のため関わる人は他の国の留学生しかおらず、現地の人と交流する機会は実はあまりありません。何か無いかと探していた所別の日本人の子の紹介で大学の日本語の授業に参加することができました。その授業を履修している学生は日本の文化に興味がある人が多く、お互いに言語を教え合ったりして交流を深めることができました。そこで出会った子達と週末に和食屋さんに行ったのですが、とっても美味しかったです！



日本語クラスの学生たち

6. おわりに

今月は授業が始まったりコロナに感染してしまったりして忙しく週末に出かけたりすることはあまり出来ませんでした。短い留学期間なので充実した生活を送ることを心がけて過ごしていきたいです。